

高2部員による座談会

鉄研について語るスレ//////// Part39

この座談会は、旅行・鉄道研究部の未来を担うはずだった現高2のスタッフが『とりあえず座談会開いて停車場に載せてみようぜ(笑)』という発言から始まったものである。

8月26日に高2部員3人で集まり、東京駅付近のガ〇トにて行いました。その模様を綴っていきます。

まずはメンバー紹介

阿部…副部長兼模型班班長の蕎麦屋店長。他の2人によくイジられる。

あだ名は「あべちゃん」「阿部氏」「蕎麦屋」

玉眞…副部長兼HP班副班長。今回の座談会を企画してくれた！

あだ名は「たまたま」「たまんちょ」「たまちゃん」

脇本…HP班班長。この記事の執筆者。

あだ名は「脇」「わっきー」「飯島さん」

そして、もう一人高2でもないのについてきた部員

益…HP班所属の中三部員。たまに同級生のように見えてしまう。

あだ名は「ますぞう」「インド人」「渡印の益」

とりあえず注文

阿部「とりあえず僕はこの鶏肉のやつとドリンクバーのセットかな。」

脇本「つか益250円返せよw(※1)」

益「あなたなかなかめんどくさいね。」

玉眞「阿部結構がつつり食べるね。」

阿部「うん、結構がつつり食うwてかさあーまじやばいって。」

玉眞「主語がない」

阿部「模型班やばいって」

玉眞「また今日なんかあったのか。」

阿部「ほんとさ、模型コンテストの時にU君とM君が…(以下略)」

玉眞「きまった？」

脇本「ドリンクバーで。」

玉眞「俺はドリンクバーいいや。プルプル黒糖ゼリー」

脇本「あー、俺もそれにするー。」

※1 この日銚子遠征で、ヤマサ醤油工場を見学した際に、益に醤油ソフトクリームを奢らされたのだ…。

おはなし開始!!!

玉眞「つかれた銚子。」

-阿部が抹茶オレを持ってきた-

阿部「阿部ちゃん=抹茶オレだからね。」

脇本「いや、蕎麦だろww」

益「てか、なんであなた蕎麦なの。」

店員「お待ちせしました。プルプル黒糖ゼリーです。」

阿部「フォークよこせ、益、よこせ」

阿部「じゃ、始めますか」

玉眞「じゃ、過去の鉄研旅行でも話しますかー。近いやつから。まず今日の銚子遠征から」

益「まじで、銚子から話すのw」

玉眞「いやー、今日は西島先生の提案に岩崎が承諾したのがすごかった(※2)」

★銚子遠征とは…

座談会の日にHP 班員と、模型班の中一を対象に行った銚子旅行。OBが私たち鉄研のために銚子電鉄一日乗車券「弧廻手形」を9枚寄付していただいたため、行くことになったのだ。ヤマサの醤油工場見学をさせていただいた。

※2 帰りの行程が総武線周りだったのを急遽成田線周りで帰る行程に変更するのをすぐに高二の岩崎が承諾してくれた。

鉄研旅行を振り返る…

-乗ったことのない路線の話-

玉眞「そういえば烏山線とか乗ったことないよねー。」

脇本「あー西島先生が前にも言ってたよね。」

玉眞「そうそう。日光線は乗ったことあるけど、烏山線には乗ってないのよ。」

★日光線に乗車した旅行(当時中二)の行程について

上野駅に集合し、水郡線を使って郡山まで乗ったのち、東北本線と日光線で日光まで向かい、東武特急で浅草まで戻る。新宿まで移動し、ムーンライトえちごで新潟へと向かい、仙台周辺を観光した旅行。

玉眞「あーとーは一は一、五日市線とか乗ってないよ！てか、あんなところ誰が用事あるんだって感じ。」

-話が脱線-

阿部「毎回さ、こうみ線なのか、こうめ線なのか分からなくなるー。」

玉眞「どちらかという、こくらなのか、おぐらなのか分からなくなる。あと、こもろと、おもろとかも間違いやすい。」

-北陸旅行(当時中二)の話に-

阿部「地铁(富山地方鉄道)乗りたいなあ…。」

玉眞「中二の夏休みだったね。あの時は富山ブラックラーメンを食べたなあ」

阿部「あの時は、路面たくさん乗れて楽しかったな。」

-またもや話が脱線-

阿部「てかさー、なんでナイフないのw」

玉眞「知らんがな。てかまじ今日疲れすぎた。」

玉眞「久しぶりに車庫見学とかしたくない??俺たちの代は綾瀬の車両基地見学したよね。個人的には、京成線の宗吾参道の車両基地見学してみたい。」

阿部「まじいきたーいそれ♡」

阿部「てかさー、なんでナイフないのw(二回目)」

無視…笑

脇本「京成の車両基地行くならさ、スカイライナー乗ってみたい！」

玉眞「スカイライナーいいけどさ、すぐ着いちやって面白くないよ。」

阿部「ナイフ無いから、フォークでそのまま鶏肉食べるしかないんだけどw」

-そしてまた話は鉄研旅行に…-

脇本「今までで一番楽しかった鉄研旅行につて話そうよ。」

玉眞「なかなか難しいなそれ。今までで一番きつかったのは、ながらホテル旅行だよな。」

阿部「あー、大雨でムーンライトながらが5時間遅れのやつか。」

玉眞「一番楽だったのは、皆藤(部長)の温泉旅行だよなー。」

脇本「あー、あれか。二日間も温泉入れるやつなww」

阿部「一番きつかったのは中一の九州旅行だったと思う。」

玉眞「あー、自由行動が高くて松崎先生に怒られたやつ。」

阿部「僕は鹿児島中央まで行ったよ」

玉眞「肥薩おれんじ鉄道乗ったんだね。」

脇本「一番思い出に新しいのは、蕎麦(※3)旅行だよな」

玉眞「あんたら二人は、いつも旅行の時テンションおかしいじゃんw 四国の時の赤穂線にしろ、蕎麦にしろ」

※3 当時高一だった時の九州へ行った旅行の別名。部員の中でも知っているのはこの3人だけ…。

-しばらく三人にしかわからない話が続く-

阿部「ああ納豆巻き！！！！！！！！」

脇本「九州のスーパーホテルでさ、wi-fi 飛んでるからってさ、蕎麦屋(※4)変な動画見てたよな…。」

玉真「蕎麦一丁！！！！」

脇本「蕎麦一丁！！！！おなかすいた。」

阿部「へい、おまち。」

脇本「蕎麦ともう一つ忘れてるけどさ、青函トンネルな。」

阿部「ああ www」

玉真「新幹線出し入れするやつでしょ w きたない！！」

※4 熊本で泊まったホテルで、阿部が蕎麦に関する動画を見ていたため、蕎麦屋というあだ名がついた。

-次の春の鉄研旅行の行き先がどこになるかを予想-

玉真「次の春は北海道じゃね？」

阿部「えー、いけるの??新幹線じゃん。」

玉真「なんか、18 きっぷと別に券を購入すれば、乗れるらしいよ。もうこの前九州行って、その前が四国だったから、北海道しかないでしょ。」

阿部「中国地方行きたいなー。」

玉真「中国地方は卒業旅行までにとっておきたい。」

脇本「卒業旅行??」

玉真「並河(※5)に誘われたのよ。てか、鉄研引退とかないからさ。もう、西島先生と契約結んである。」

脇本「引退 #とは」

玉真「あ、突然だが西島先生の誕生日は10/31だよ。昨日は野沢先生の誕生日ね。」

益 「なんか飲み物。」

阿部「ロイヤルミルクティー」

脇本「なんかY氏からメールが来た。」

しばらく沈黙が続く

阿部「話そうぜ ww」

玉真「なんだっけ、楽しかった鉄研旅行の話だっけか。ま、ゆーて毎回楽しいけどな。」

阿部「なんか毎回やらかすけどな。」

玉真「結局、鉄研が居場所なんだよなあ。」

※5 卓球部の部長

—なぜか話は松崎先生の実家に行く旅の計画に…—

玉眞「まず、東門前駅に集合して、反町駅・青砥駅と通ったのち、小櫃で自由行動 w」

阿部「あ、松崎先生の実家がドラマの撮影地になっていたよね。」

玉眞「あ——っと、なんだっけ。」

益 「サムライ先生だね。玉眞のノートに書いてあった。」

玉眞「そう、雑談はメモってるから。じゃあ、サムライ先生の撮影地巡りと称して、松崎先生の実家に行く旅という w 久留里線乗ったことないでしょ？」

脇本「うん、ないね——。」

—グルメ列車に乗りたい…—

玉眞「なんか、グルメ列車乗りたいくない？車内で何か食べる系のやつ。」

阿部「しなの鉄道のろくもんとかどう？」

玉眞「あれめっちゃ高いんだよね。」

阿部「一番乗りたいのは東北エモーション。」

玉眞「あれ団体商品だから個人じゃ乗れないよ。そういうのがあるからなかなか鉄研旅行で行けないのがあるんだよ」

阿部「SL 銀河は？」

玉眞「盛岡遠いんだよな」

阿部「他に近場である？」

玉眞「いすみ鉄道」

脇本「レストランキハ」

阿部「雪月花に乗りたい」

玉眞「いすみ鉄道ねえ、近場なんだけどねえ、高いんだよねえ。いすみ鉄道のお刺身列車は高い。一人一万いくらするんだよ。大人の贅沢って感じだねえ。子供はだめだよ。

阿部「鉄研でとれいゆを貸し切ろう。」

玉眞「現美新幹線はダメだよ。」

(しばらく沈黙が続く)

玉眞「いや、話そうぜ w」

益 「なんなんだよ」

阿部「アイス頼もうかなあ〜」

玉眞「てか、お前誰だよ」

阿部「え w やめてよ」

脇本「いや、だれ」

玉眞「そういえば、ちゃっかり入ってきてさ、なんなんだよ w 相席なんだよね」

-この文化祭終わったら、引退じゃん！！-

阿部「俺たち高2で引退するじゃん。」

玉眞「引退？」

脇本「引退 #とは」

玉眞「この三人は引退できない。」

阿部「俺たち上皇みたいにならない？ すぐ一口出しするみたいな。」

脇本「鉄研しっかりしろよ～みたいなの？」

脇本「そういえば益、俺たちが引退したら味方いなくなっちゃうね。」

益「いや、別に同学年と仲良くしているからさ」

阿部「今年の文化祭どうなるのかなあ」

玉眞「エアトレインマジでやるのかな w」

脇本「エアトレイン #とは」

阿部「あれは寸劇」

玉眞「みんなしっかり鉄研旅行に話し戻そうぜ w 四人とも行った旅行って四国旅行だよ
ね。」

-四国旅行（当時中三の春旅行）について語る-

阿部「写真に必ず入ってピースする○君が本当に嫌だった。」

脇本「あれ、朝から鈍行で岡山まで行ったやつか…」

玉眞「豊橋でカメラのレンズキャップ落とした奴いたよな。」

阿部「赤穂ルートな w」

脇本「なっとうまきころころころ」

玉眞「この旅行時はさ、初めてスーパーホテルに泊まったんだよな。鉄研で泊まるときっ
ていつも東横インだけど。アパホテルはちょっと値段高いんだよな。」

阿部「あと何したっけか」

脇本「ことでん！」

玉眞「金毘羅宮行ったよね。」

阿部「階段で上がるの辛かったよな…良かったけれども。しっかりと奥のところまで行っ
たよね。」

玉眞「おみくじを運ぶトロッコみたいなやつ感動したなあ」

脇本「あーあった、あった。あとさ、みんなで怪しいトイレに入って行ったよな。」

阿部「ボタンだったよね w」

脇本「何の話だよ w」

玉眞「とりあえず、ことでんが良かった。えっと、高松築港出てから二つ目の…」

脇本「瓦町かな。」

玉眞「あー、そうそう。その駅で車両交換した時にさ、前に停車している電車がギリギ

りまで攻めて停車しているのがすごく良かったなあ。」

阿部「最初に乗ったのが、えっと」

脇本「名古屋市営地下鉄の車両だね。」

阿部「で、その次に京急乗ったよね。」

玉眞「すげーニコニコしてやがる(脇本を見て)」

阿部「どっちも好きな車両だもんね。」

玉眞「早く、アンタ四国に引っ越しな。」

玉眞「阿部ちゃんが仏生山で荷物忘れたよな————。」

阿部「そう、で、優しい駅員さんが連絡してくれて、折り返しで持ってきてもらうという。で、その後仏生山の車両基地でデカ1形っていうゲテモノを見たよね。」

脇本「お昼のうどんが美味しかったのしか記憶にない…」

阿部「何軒か探したんだけどさ、閉まってる店とかあって、結局瓦町まで戻ったよね。」

玉眞「その後は、JRの特急南風で高知に向かったんだよね。で、高知で泊まって、翌日鉄道ホビートレイン乗ったよね。北宇和島まで」

阿部「途中の半家駅で写真撮ったw」

玉眞「で、松山まで行ったんだよな。で、道後温泉で松崎先生にあったね。」

脇本「そうそうそうそう」

玉眞「教訓 いくら払ってもお湯は同じ」

阿部「坊ちゃん列車乗ろうとしたんだけど、時間がなかったんだよね。」

脇本「その後みんな別れて行動したよね。阿部ちゃんと、大手町駅のクロッシングレール撮りに行った。」

阿部「そうだったね。」

-話が脱線(二回目)-

脇本「なんで今日益遅刻したの??」

益「寝坊したからだよ。」

脇本「遅刻の益」

玉眞「ニジマス」

脇本「うまい！」

玉眞「あと、8分なんだから、変な話している場合じゃないよw」

脇本「そろそろ締めですか。」

-お話戻りまーす-

玉眞「で、そのあと、オレンジフェリー乗ったんやね。東予港から。最寄りの駅なんだっけ。」

阿部「壬生川駅や」

脇本「で、バス乗ったんだわ。」

玉眞「駅で、恒例の三角くじ引きがw(※6)で一、次の日阪急とか乗って、名古屋から中央線周りで帰ったね。甲府からあずさ。西島先生とかとほうとう食べたなあ。」

益 「ほうとう出てくるの遅いよね。」

阿部「抹茶ミルクティー持ってきた。」

玉眞「毎回なんだかんだ旅行楽しいんだよな。この前の九州も」

脇本「三脚 stolen(※7)」

玉眞「あくまで、盗まれた、と、いうことで。あと、俺が女子高生に笑われたの覚えてる。やっぱモテるんやな。俺先祖の生まれ九州やから。」

阿部「お、おう」

玉眞「つか、そろそろ時間や。結構話したよな。」

全員「よし、今日は疲れたから帰ろう。」

※6 松崎先生がよく作る三角くじは鉄研旅行だけでなく、席替えなどでもよく登場する。

※7 盗まれたんです、はい。無くしてはいない(はず)。

座談会終了！

最後までお読みいただきありがとうございました。わからない話がほとんどで申し訳ないです。

五年間も鉄研にいれば、旅先での思い出などがたくさんあります。この一時間でも話せなかったことはまだまだあります。笑

色々失敗もあって、鉄研が嫌になることもありましたが、こうやって振り返ってみると、鉄研が自分の居場所であったんだな。と実感しました。鉄研に入部していなければ、こんなにも日本各地を回ることができなかつただろうし、分かり合える友達にも出会えなかつたでしょう。

座談会終了じゃ！(° ▽°)

玉眞(*^。^*) 阿部(° ▽°) 脇本(+_) 益(@_@;))